

地域情報

益城町でも県育成品種「ゆうべに」栽培始まりました！

(一社) 熊本県野菜振興協会上益城支部

上益城地域では、30年ほど前からイチゴ栽培が行われています。ただ、スイカやカンショの産地である益城町ではイチゴの観光農園はあるものの、一般的な生産は行われていませんでした。しかしながら、「ゆうべに」の多収性とイチゴ価格の安定性から、益城町でもイチゴ栽培を始める生産者がみられるようになり、今年度は2戸の生産者が、「ゆうべに」栽培に取り組んでいます。

空港近くの土耕栽培のハウスでは、現在、一番花が満開となり、クリスマス・年末にかけて大粒のイチゴを出荷していきます。このハウスでは11月～5月まで収穫作業が続きますが、10a 当たり5t (20,000パック) を目標としています。また来年度に向けて、隣にハウスを増設、さらに規模を拡大していく予定です。

イチゴ経営は、栽培技術を習得するのに時間がかかります。上益城全体の生産者の栽培技術向上を目指す支援の一環として、益城町のほ場では天敵を使ったハダニ類、アザミウマ類対策の野菜振興協会展示ほ場を実施し、持続的な防除プランの提案を考えています。



一番花が満開のハウス



昨年12月の収穫後風景